

**令和8年度 第1回 四国圏広域地方計画協議会
及び 四国地方の社会資本整備戦略会議 合同会議
議事要旨**

1. 日時

令和8年 5月13日(水) 13:30~15:10

2. 場所

かがわ国際会議場(高松シンボルタワー タワー棟6階)
(上記会場を拠点としたWEB併用会議方式)

3. 議事

- 1) 新たな四国圏広域地方計画について
 - ・新たな四国圏広域地方計画原案について
- 2) 次期四国ブロックにおける社会資本整備重点計画について
 - ・次期四国ブロックにおける社会資本整備重点計画(原案)について
- 3) 意見交換

4. 主な議事内容

○開会挨拶

四国圏広域地方計画協議会 並びに 四国地方の社会資本整備戦略会議 長井会長より挨拶

○意見交換

議事1)、2)について事務局から資料説明。その後、意見交換が行われた。

○審議事項

議題1) 新たな四国圏広域地方計画原案画原案について了承。

議題2) 次期四国ブロックにおける社会資本整備重点計画(原案)について了承。

※意見を踏まえ国土交通省にて最終案を作成し、最終案の確認を協議会会長に一任いただくこと了承

【意見交換における主な意見は以下の通り】

<香川県>

- ・これまで議論で積み上げたものであり、修正が必要ということではないが、「四国の新幹線」に関する記載について、国の方針が明確になっていないという点は、十分ではないと考えている。
- ・「四国の新幹線」の必要性について、交流の拡大や災害時の復旧の面から、整備を進めていかなければならない重要なインフラであることは論をまたないと考えている。北海道や北陸に続いてスタートするとしても、ルートや駅が決まっていない現状においても一刻の猶予もない。ルート検討を国が主体となって行う、着手するタイミングになっていると考えている。明日も長井会長と東京に要望に行く。四国が一体となって、皆さんにはご協力いただきたい。

<徳島県>

- ・「四国の新幹線」に関する記載について、「南海トラフ地震時のリダンダンシーの確保」、あるいは「新幹線の整備も含む」といった文言が反映をされていないということに関して、率直に申し上げて大変残念に思っている。
- ・新たな高速交通ネットワークの構築は、中四国・関西 3000 万人の広域経済圏の実現につながるもので、今こそ国家プロジェクトという位置づけで、四国四県の切実な思いを重く受け止めていただき、整備計画への格上げに向けた調査検討をはじめ、早期整備に向けた取り組みを、スピード感を持って進めていただくよう強く要望する。

<高知県>

- ・本県では、切迫する南海トラフ地震による甚大な被害が想定されており、発災時における輸送路の確保および冗長化は極めて重要な課題と認識しており、その観点から、災害に強いインフラである新幹線の整備の必要性について、これまでも繰り返し訴えてきたところ。国土強靱化の観点からも、「四国に新幹線」を整備することの重要性を引き続き国に対して強く訴えていきたい。

<愛媛県>

- ・「四国の新幹線」に関する記載について、災害時のリダンダンシー確保の観点から、新幹線整備の有効性について計画に記載いただいた点については、評価し感謝する。
- ・一方で、本県はフル規格新幹線の整備を強く求めている立場として、幹線鉄道の高機能化に関する調査・検討の記述において、「新幹線整備を含む」といった文言が明確に盛り込まれなかった点は残念に感じている。今後も、フル規格新幹線の導入に向けて、粘り強く要望を続けてまいります。

<四国経済連合会>

- ・四経連として、「四国の新幹線」について意見を述べる。
- ・「四国の新幹線」に関する記載について、新幹線ネットワークの役割として、地方創生に加え、災害時に被災地を支える重要なインフラであることが明記された点や、署名活動の実績が反映された点については評価している。一方、四国の実情として切迫する南海トラフ地震への対応の観点から新幹線整備の必要性が十分に記載されていない点、また10年計画として新幹線整備に関する具体的なステップが示されていない点については、残念に受け止めている。
- ・本計画には十分に反映されなかったものの、今後も四国四県と連携しながら、国との議論を継続し、新幹線の実現に向けて取り組んでまいりたい。

<四国運輸局>

- ・「四国の新幹線」について、45万筆にのぼる早期実現に向けた署名をはじめ、四国の皆様の思いを重く、しっかり受け止めさせていただく。皆様からご意見を改めて、本省に伝えさせていただく。

<四国地方整備局>

- ・整備局では、南海トラフ地震や近年頻発する豪雨に対応するため、四国8の字ネットワークの整備や流域治水、港湾の津波対策など、国土強靱化に資するインフラ整備を着実に進めているところ。
- ・本計画のキャッチフレーズ「この街で暮らしたい。誰もが活躍し、豊かに暮らせる四国」の実現に向け、社会インフラの持続可能な整備・管理に取り組むとともに、四国地方の国土基盤の高度化・高質化に取り組んでいきたい。

<意見に対する事務局回答>

- ・「四国の新幹線」に関するご意見について、本省へ伝えさせていただくとともに、本計画策定後においても、引き続き、皆様との意見交換を続けさせて頂ければと考えている。

<協議会会長>

- ・審議に先立ち、協議会会長として一言申し上げる。両計画とも今後四国が取り組むべきプロジェクトが網羅され、充実した内容となっており、新幹線についても、関係者間で真摯な調整を続けた結果として了承したいと考えている。一方で、新幹線の実現は地域の悲願であり、これからも四国地域が一体となって新幹線の実現に向けて取り組んでまいり。

以 上